

# 儂く尊い命を持つペットの最期の時—— 最愛の存在を亡くしたご家族をお手伝い

尊い命を持ち、家族の一員として大切に育てられてきたペットとの最期の時——。最愛のペットが亡くなって悲しみに暮れるご家族に、最善を尽くしてお手伝いしている『愛愛送社』。ペットの火葬業務から葬祭式の運営、火葬炉の製造・販売まで幅広く手掛けている。本日はタレントのつまみ枝豆氏が同社を訪問し、俵社長にインタビューを行った。

——『愛愛送社』さんではペットの葬祭業を手掛けていらっしゃるかと。俵社長が事業を立ち上げられた経緯からお聞かせ下さい。

もともと冠婚葬祭業に携わっていたのですが、近年は葬儀市場の多様化が加速していくのを肌で感じていました。そんな中で、今後はペット葬儀市場の需要が高まっていくだろうと予測したんです。人も動物も皆、尊い命と思っています。だからこそ、最愛のペットが亡くなって悲しまれているご家族のお手伝いをしたい——その思いが、私を事業立ち上げへと突き動かしていきました。そうして『愛愛送社』をスタートしたのが今から10年ほど前です。

——「ペットは家族」という考え方が随分広まってきましたし、家族の一員をしっかりと供養したいと考える人が増えるのは当然でしょう。社長には先見の明がおりだったんですね。では具体的な事業内容を伺っていきます。

ペットの火葬業務やペット葬祭式の運営をはじめ、自社ペット霊園の運営のほ

かメモリアルグッズの販売、そしてペット火葬炉の製造・販売を手掛けています。ご葬儀と火葬については、火葬炉・葬儀場・納骨堂を完備した当社の斎場にて執り行う斎場火葬、または火葬炉を搭載した車でご訪問し、お客様が希望される場所で火葬させていただき訪問火葬をご利用いただけます。いずれにしても、どこで、どのようなかたちでお見送りたいかというご家族の希望をしっかりとヒアリングし、「想い」に寄り添ったご葬儀の実現をお手伝いしています。

——私もこれまで様々なペットを飼ってきましたが、所詮動物だからという扱いを受けたこともありました……。けれども御社になら安心してお任せすることができますね。

人と動物はかたちは違えど、同じ“尊い命”——私共の場合は、ペットであっても人間の葬儀に近い考え方、弔い方をすべきだと考えています。最期まで静かにお見送りできる場所もあり、お焼香もしていただけます。また、葬儀の後も四十九日まではご案内のおハガキを出さ

## 愛愛送社 株式会社

【滋賀斎場】 滋賀県野洲市野洲 1443-1

【宇治支店】 京都府宇治市小倉老木 46-8

【大阪支店】 大阪府大阪市西区九条2丁目 22-10

URL : <https://www.aiai-sosha.jp/>

代表取締役  
俵 日登美

せていただきますが、それ以降はご連絡があれば対応させていただくかたちですね。お墓に関しても、ご家族がお困りでしたら自社霊園で埋葬させていただきすし、どんなことにおいても無理強いはすることはありません。あくまでもご家族の想いを最優先にし、私共ができることを精一杯お手伝いさせていただくというスタンスです。

——一方的にプランを押し付けるような葬儀会社もあると聞いたことがありますが、あくまでお客様の立場に立つという御社の姿勢は好感が持てます。お客様の評判も良いのではありませんか。

はい。お陰様で私共がお手伝いさせていただいた方からのご紹介というケースが増えています。実は料金だけを見ていただくと、一般的なペット葬儀社よりもやや高いのですが、それでも当社を選んで下さったり、ご紹介して下さいたりということがありがたいですし、嬉しいですね。

——価格以上の満足を提供されているという証拠でもありますね。やり甲斐も大

きでしょう。

そうですね。ペットの火葬は人間と一緒に一度きり——常にそういった緊張感がありますが、その分大きなやり甲斐を感じています。何より優秀な従業員も揃っているのが心強いですね。皆に支えてもらってここまで続けてくることができました。夫が手掛けるペット用火葬炉の製造は男性の従業員が中心ですが、ペット葬儀は女性スタッフのみ。直接お客様と接する立場ですし、女性ならではのきめ細かい気配りでお客様に安心してご利用していただきたいと考えているんです。

——お客様も最愛のペットを亡くしてナイーブな時期ですし、女性のほうが話しやすいというメリットもありますね。ところで火葬炉については、開発のきっかけは何だったのでしょうか。

全国の葬儀場や火葬場を視察させていただく機会があったのですが、火葬炉自体が老朽化しているところが多く、煙や臭いもすごかったんです。これでは近隣から苦情がくるのも無理はないでしょ

う。「より安心・安全な火葬炉をつくろう」という想いが出発点になりました。そうして従来の火葬炉ではどうしても解決できなかった煙や臭い、有害物質の発生をゼロに近いレベルにまで抑制する独自の燃焼技術を開発したんです。また、高火力で火葬時間を短縮しましたが、骨はきれいに残せることも特徴の一つ。これなら近隣にもご迷惑をかけることなく、静かに最期のお別れをしていただくことができます。

——それは画期的ですね。今後需要は高まるばかりだと思いますが、最後に、今後の展望について伺います。

会社としては、今まで以上にスタッフが働きやすい環境を整備していければと思っています。それこそお客様によりご満足いただける葬儀の実現にもつながりますからね。そして、これからもお客様の大切な家族の一員であるペットとの最期の時を心の込められた時間に行えるようしっかりと寄り添い、最善を尽くしてお手伝いしていきます。

(2020年1月取材)

After the interview



## つまみ枝豆

(タレント)

『愛愛送社』さんのペット火葬炉は特許も取得しており、安全な火葬炉としてテレビなどでも紹介されるなど大きな反響を呼んでいるそうです。社会的な意義の大きい事業でもありますから、今後もぜひ多くのペット、そのご家族に寄り添った事業を続けてほしいですね。陰ながらではありますが、応援していますよ！

Pickup

火葬炉・葬儀場・納骨堂を完備した斎場  
ご家族様に合わせたご供養を



お別れの間



火葬室



Column

## 思い出をかたちにするメモリアル商品も充実

▼「ペットは私と同じ尊い命を持ち、家族の一員であるからこそ、人間と同じようなお別れを」——そんな想いから、バラエティに富んだオリジナルのメモリアル商品も多数取り揃えているという『愛愛送社』。桐製の棺や布団セットが付いたバスケットは、大切なペットの天国への旅立ちのお供に選ぶ人が多く、そのまま火葬することができるという。「棺もバスケットもお骨に対して影響が少ないものを選んでます」と俵社長。また、大・中・小の各サイズから選択可能なペットを包むおくるみなども用意。さらに葬儀を終えた後のご供養のために小さな仏壇や仏具を用意しているほか、歯や遺骨をカプセルに入れて持ち歩くことができるキーホルダー、ペンダントなども提供しているとのこと。ペットとの大切な思い出を様々なかたちとして残すことで、いつでも共に過ごしたかけがえない時間を偲び、これからもそばで生きていくことができるのだ。